分会紙等コンクール2022年度受賞紙

2022年度の分会、青年部、主婦の会、シニア友の会の入賞機関紙が決定しました。「特選紙」は10月28日に「けんせつ」前編集長の三木勉さんと年金著新聞編集長の向井光也さんが選び、「入選紙」は11月13日の通信員総会の際、各支部から出席した通信員、教宣本部役員による厳正な投票によって決まったものです。「特選紙」、「入選紙」は以下の33紙です。

〈特選紙〉

【分会の部】
★「はなはた」足立支部花畑分会★「奥戸」葛飾支部奥戸分会★「葛西西」江戸川支部葛西西分会★「大山」板橋支部大山分会★「ひまわり」板橋支部蓮根分会★「はらから」板橋支部徳丸分会★「たかまつ」練馬支部高松分会★「桜並木」練馬支部学園分会★「いずみ春夏秋冬」練馬支部泉分会★「きさらぎ」世田谷支部喜多見分会★「笑い薬師」中野支部やくし分会★「しんなか」三鷹武蔵野支部新川中原分会★「武蔵野の森」西多摩支部羽村第五分会★「とんかち」西多摩支部青梅第二分会★「九道の辻」小平東村山支部南分会★「はなみずき」村山大和支部大和南分会

【青年部の部】
★「サンマーズ」目黒支部青年部

【主婦の会の部】
★「ひだまり」練馬支部石神井台分会女性の会

【シニア友の会の部】
★「あけぐれ」渋谷支部シニアクラブ

〈入選紙〉

【分会の部】
★「なかま新聞」江戸川支部東西小松川分会★「けやき」豊島支部南池袋分会★「みちくさ」練馬支部桜台分会★「大泉東分会ニュース」練馬支部大泉東分会★「四面塔」練馬支部西大泉分会★「新とよたま」練馬支部新豊玉分会★「さんちゃ」世田谷支部三軒茶屋分会

【青年部の部】
★「ふれんどしっぷ」町田支部青年部

【主婦の会の部】
★「あさがお」台東支部女性の会★「あおぞら」練馬支部高松分会女性の会★「かなめ」中野支部かなめの会★「のみち」西多摩支部女性の会★「女性たちから」八王子支部女性の会

【シニア友の会の部】
★「いぶし銀」西多摩支部シニア西多摩

生活直撃の物価高騰
高齢化での社保改革も急務

11月13日に行なわれた通信員総会で「『黄金の3年間』が国民にとっての真の黄金期間となるよう、今、政治に求めること」というテーマで参加者に寄稿してもらった記事を紹介します。

高橋さん

【村山大和・電気事務・亀澤明子通信員】このところ閣僚が次々と辞任するという前代未聞の不祥事が起こっています。今の政府の状況に何を求めていけるのかが、とても疑問です。

あげたらきりがないのですが、まずは中小零細企業へのいじめをやめてもらいたいです。この国の下支えは中小企業です。一番の根幹を担っている建設職人、労働者に対し

亀澤さん

中小企業を大切に
閣僚辞任ドミノに不信

今の政治は自分たちのやりたいことをやりたいようにしているだけで、何一つ国民の声に耳を傾けない国のトップとはどうなのかと思います。軍事にお金を使うのではなく、コロナで全国民が困っているのだからそこに税金などを使ってもらいたいです。そのうえでコロナでは自粛要請を出してもらいたいです。

今後、より若い世代の年金等を減額しないでもらいたい。今の政治はすべてが矛盾して国民のための政治ではないと思います。

国民に寄り添った政治にすべきです。そのためにも私たち東京土建の組合員も国民とともに要求を掲げ、政府に抗議していかないと、未来はないのではないでしょうか。

『黄金の3年間』
けんせつ通信員 政治に求めること

田嶋さん

【江戸川・設備管理・田嶋隆人通信員】今、政治に求めることは、私たちの生活を直撃している物価高対策です。賃上げがままならない現状において、生活が非常にきびしくなっているからです。

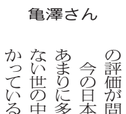
しかし、「黄金の3年間」では直近の選挙を意識せずに、中長期的な政策に集中できるという観点から、この期間では人生100年時代を見据えた社会保障問題に取り組んでほしいと思います。

現在、少子・高齢化の進行にともない、社会保障関係の給付費は増加の一途をたどっています。このままでは社会保障制度を維持することは困難となるばかりか、国民生活の安定を図る目的の社会保障が国民生活を逆に圧迫することになりかねないのです。こうしたことから、高齢化に対応した社会保障制度の改革が急務になってくると思います。

現岸田政権も「全世代型社会保障構築本部」を設置するなど本気度をアピールしていますので期待したいところです。ただ、過去2回あった、黄金の3年間では、同じ首相が政権をまっとうしたことがないという事実もあるのですが…。

国民に寄り添って
政府に抗議の声上げよう

【八王子・大工・高橋俊光通信員】国民の負担を少しでも減らし、コロナが広がらない国にしてもらいたいし、インフラ整備や国民のプラスになる政治をしてほしいです。


杉本さん

【台東・塗装・杉本良信通信員】7月の参院選が終わり、その選挙結果が出てからマスコミはやたらと「黄金の3年間」と言い出した。何のことかと思えば、それは政府与党にとっての「黄金の3年間」ということなのだ。

このまま衆議院の解散がなければ、国政選挙は行なわれない。それが日本の現状にとって良いことか悪いことか、それはわからない。これからの岸田政権のありようで、その評価が問われるのだろう。

今の日本を取り巻く問題はあまりに多いと感じる。何もない世の中などないことはわかっているが、コロナ感染、

ロシア人夫婦の会話が心に残る

やっとの思いで生きているのです。

富彌さん

やコロナ禍なと、岸田政権には問題山積である。来年はインボイス制度導入や、保険証廃止問題など、見過ごすことができないことが出てきている。

止めようインボイス
思考停止はお引き取りを

【品川・内装・富彌則通信員】7月の参院選後、「黄金の3年間」と言われたが、統一教会との癒着の問題であまりにもひどい扱いだと思います。

税金の問題でも、消費税は減税し、インボイス制度など中止にしてもらいたいです。

旧統一教会、急激な円安、ウクライナへのロシアの軍事行動、それに伴う世界経済の混乱、国内の物価高、目を向ければ諸問題が山のようにある。すべてが政治、政府の責任とは言わないが、その一端はあるのだと思う。

先日テレビを見ていたら、ロシアの若い夫婦が話し合っている場面のインタビューだった。妻がプーチンを批判していた。「なぜこんな国になってしまったのか」と。最後でもここで止めなければ、マイナンバーカード普及とともに、個人情報が政権に握られる。自分としては現政権を信用できないのでマイナンバーカードは作っていないが、保険証が廃止になるとどうするかである。

国民の声を聞かない底なしの思考停止の方々にはお引き取りいただき、国民の声を聞く政府をつくりたい。

大鐘さん

【茨谷・造形・大鐘弘資通信員】「黄金の3年間」と言えばアベノミクスを思い返されますが、岸田政権が掲げる「新しい資本主義」には強い信念を感じません。

コロナ福以降、国債を使うことになる経済支援も、いずれは国民に降りかかる借金です。政府も数々の経済対策を行なってきましたが、日本の平均賃金は韓国にも抜かれています。国の調査では年々賃金が上がっていますが、物価上昇の速度のほうが速く、ますます生活を圧迫する経済悪化のスパイラルにハマってしまいます。

では、国民が何を政治に要求しているかと言えば、大半の人は政策に文句はあっても要求をできる場を持っていないのが現状です。

私たちは組合でその要求が出せます。組合活動の根幹となる賃金対策で数多くの要求を集め、政治に労働者の声を届けています。

黄金の3年間の「新しい資本主義」には「一国民に届く経済政策」を常に忘れないでほしいと思います。

信念なき「新しい資本主義」
組合の根幹は賃金

青木さん

核兵器禁止条約に参加せよ

【目黒・空調・青木清通信員】私が今こそ政治に求めることは、第一に核兵器禁止条約への参加です。被爆者の方や私たちが長年にわたり訴えてきたことが世界に届いて国連で採択されたこの条約を日本政府はいまだに批准しようとしません。

ロシアのウクライナ侵攻が始まって以来、核兵器の使用が現実味を帯びてきました。この時期だからこそ、唯一の被爆国である日本の参加が望まれます。

私たちは長い間、核兵器禁止の署名活動に取り組んできました。その始まりは戦後の占領下から始まった「ストックホルムアピール」でした。そして1956年の第1回原水爆禁止世界大会までには、日本の人口の半分になる署名が集まりました。

私が初めてこの署名活動に参加したのはこの1年前、16歳の時でした。ビキニ水爆実験の放射能の雨が降ってからの署名活動の盛り上がりは、今では考えられないほどでした。しかし、そこで一緒に頑張ってきた仲間や肩を並べて訴えてきた被爆者の方も亡くなってしまいました。禁止条約も知らずにです。

その人たちの想いも込めて「核兵器禁止条約」への参加を実現したいものです。

困ったら憲法です
自民改憲案は人権軽視

阿部さん

【清瀬久留米・畳・阿部史夫通信員】そもそも、なぜ、自公に投票するのか。はっきり言いたい。自公への投票は自分で自分の首を締める、自殺行為なのだと。

彼らは、憲法を変えようとしている。賃上げを拒否している。消費税を上げている。社会保障を次々と改悪している。原発を再稼働している。ジェンダー平等など、眼中にない。などなど、自公政権の悪政を上げたらキリがないのだ。

それなのに先参院選では与党の大勝。残念ではあったけれど落ち込んだりはしなかった。何度も負ける選挙を経験しているのもあるけど、やっぱり、今の日本国憲法がある限り、彼らの思いどおりにはいかないからだ。憲法は私たちの希望です。憲法は政治者をしばる。

自民党の改憲案を知っていますか、一言でいえば、私たちの権利、何より人権が無くなっていく。皆さん、困ったら憲法です。憲法変えたらそれこそ自殺行為だ。

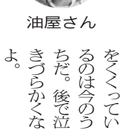
やりたい放題 そうはいかない

【江東・美装工・油屋正孝通信員】参議院議員選挙の結果、過半数を獲得した自民党は、やりたい放題のことをやっていくのだろうと、誰もが思っていたのだろう。そうは問屋がおろさない。

改憲策動をし、戦争ができる国へ、敵基地攻撃を米軍と一体となり行なえるようにするなど、きな臭い動きを新聞などで目にする。統一教会問題、円安問題、物価の高騰、原発問題、どれをとっても大事なものばかり。大問題の金太郎あめだ。

政府はインバウンドで外国からの旅行者がふえたふえた、とはしゃいでいる。それを後押しするようにメディアも浮かれはしゃいでいる。今の日本はまさに三流、四流に成り下がった感がする。数十年前に、日本人が海外へ行っていた時と逆に日本市場の大バーゲンセールをやっているみたいだ。円安をいいことに切り売りしているような気もする。

目先の利益だけを考えていれば国民なんかはお構いなしだって。国民に選ばれた政府なのだから大丈夫などとたかをくっているのは今のうちだ。後で泣きづらかくなよ。


油屋さん

消費税の減税を
地震国に原発いらない

西川さん

【西多摩・ブロック・西川哲郎通信員】もし私が総理大臣だった、「黄金の3年間」とメディアが騒いでいたのなら逆に気を引き締めていたでしょう。コロナ、ロシアによるウクライナ侵攻、物価高騰、温暖化による環境破壊、原発再稼働、インボイス、社会保障と問題はまだまだありますが、今の岸田政権は私からするとすべて逆行していて無為無策です。

まず考えるのは国民生活を守るという観点で言えば、昨今の物価高騰によるくらしへの圧迫にどのように対処するかということです。一番手っ取り早いのは消費税減税だと思います。大企業ばかりに大金をばらまくのではなく、大衆減税に回せばいい。それが一番わかりやすく、私たち国民が実感できると思います。次に脱原発と環境問題に税金を使っていただきたい。そもそも日本は地震国で原発は危険すぎます。

子どもたちの未来のため、私たち大人が現実と向き合い、一つしかないこの地球を守らないといけません。まずできることを少しでも実現していきます。

余裕ある人だけの旅行支援
無駄なお金使い過ぎ

【世田谷・土木・高橋一郎通信員】政治家に物申す。選挙の時だけの公約はどうなっているの。その場限りで、全然変わらないし、国民の理解を得られていない。

与党は多数で法案を可決し、野党は与党のあらさがしばかりしている。国民の生活をうるおすための具体的な案は出てこないし、無駄なお金を使い過ぎた。旅行支援は、時間とお金に余裕がある人が使える。コロナ給付も、不正に受給する人がたくさんいる。

今の政治では、参院、衆院とも多数決での可決、これはいかがなものか。与党の法案は通るのは目に見えている。

国会で居眠りしている先生方が多すぎ、国民の税金をもらっているわけなので、何か罰を与える法案を作ってもらいたい。

コロナの余波が続いたり、北朝鮮のミサイルが飛んできたりしている。今やれることをしっかり見きわめて、国民一人一人から理解を得られる政治になることを期待する。

高橋さん

駅頭宣伝で声聞いて
政権交代が必要

国会開会に合わせて行動する東京土建の仲間

【三鷹武蔵野・建築事務・麻生嶋初枝通信員】私は支部の仲間と一緒に、三鷹駅、武蔵境駅で毎月一度核兵器禁止条約の駅頭宣伝行動をしています。

麻生嶋さん

署名を書いていただいた方の話です。「今の政治家は、肩書欲しさに政治家になっているんでしょうね。国会での討論などを見ていたら、居眠り、ケータイばかり見ている議員が目立ちます。私たちの税金で生活しているのだから、もっと真剣に日本の将来を考えてほしいですよね。北朝鮮に拉致された人たちのことをどう思っているのか。『一生懸命取り組んでまいります』と話すが、何十年経っても一条の光も見えてきませんよね。今の議員、政府がこのままでは日本のお先は真っ暗ですね」。

この方のおっしゃった通りです。もっと国民の目線に立ち、国民の声をもっと聞くべきではないでしょうか。

政権交代しないと、ダメですね。

統一教会問題の徹底究明
国民第一の政策を

筧さん

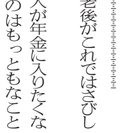
【中野・設計・筧豊通信員】参院選の結果は、安倍元総理の事件で大きく変わりました。投開票前の事件で、自民党単独で圧勝。改憲勢力が3分の2以上を確保するという結果でした。

しかし安倍元首相の事件で、統一教会との関連で容疑者が犯行に及んだことがわかり、その後いろいろと報道されています。岸信介元首相から三代に渡り関係があったということは、戦後の自民党に絶大な影響があったと思われます。

日本国憲法の改憲、日本の家族のあり方、自助・共助・公助、夫婦別姓問題など統一教会と選挙協力などの時に確約書を取り交わしていたことまで明るみになっています。その動きが地方議員まで広がり、その関係の浸透を考えると、今まで進められた政策まで国民が望んできたものなのか疑ってしまいます。

歴代の内閣、国会について、過去の経過、結果を点検し、関連性がなかったかを公にし、これからは国民の方を向いた政策立案を希望します。

聞くだけで実行はなし
コロナ対策も不安

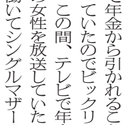

岩武さん

【多摩・稲城・設計・岩武憲生通信員】国政選挙がない3年間を「黄金の3年間」と呼ばれてみれば、なるほどと思える岸田首相の姿勢がよくあらわれていると思います。

ご本人は「よく聞き、ていねいに相談しながら実行していく」と言われるが、よく聞く耳は持っておられるのか、ないと思います。左耳から入って右耳へ？それとも何かの力が働いて中間で、それとも停滞なのでしょうか。聞くだけで実行されず前に進んでいけない内閣だと思います。コロナも次の波が来るようですが、約3年間の経験と経過から、準備はできているのかが不安でもあります。

聞く耳もなく、実行できない政治家たちに、生命を預けるわけにはいきません。

年金で安心してくらせるように


新井さん

【豊島・タイル・新井睦子通信員】ここ数年、年金の支給額のハガキが来るたびに年金が減っている。物価は上がっているのに、と思う。年金だけではとても思い、働けるうちは働こうと老体にむち打ち働いていたら、今年は区民税まで年金から引かれることになっていたのでビックリ。

この間、テレビで年金生活の女性を放送していた。長年働いてシングルマザーの人は預金で中古の家を買い、年金で日々を生活している。削るものは食費しかなく、1カ月1万円台で生活している。長年働き、子どもも成長して独立し、老後がこれではさびしい。

若い人が年金入りたくなくなるのはもっともなことだ。せめて老後、年金で安心してくらせるようにしてほしいと思う。

やりたい放題 そうはいかない

【江東・美装工・油屋正孝通信員】参議院議員選挙の結果、過半数を獲得した自民党は、やりたい放題のことをやっていくのだろうと、誰もが思っていたのだろう。そうは問屋がおろさない。

改憲策動をし、戦争ができる国へ、敵基地攻撃を米軍と一体となり行なえるようにするなど、きな臭い動きを新聞などで目にする。統一教会問題、円安問題、物価の高騰、原発問題、どれをとっても大事なものばかり。大問題の金太郎あめだ。

政府はインバウンドで外国からの旅行者がふえたふえた、とはしゃいでいる。それを後押しするようにメディアも浮かれはしゃいでいる。今の日本はまさに三流、四流に成り下がった感がする。数十年前に、日本人が海外へ行っていた時と逆に日本市場の大バーゲンセールをやっているみたいだ。円安をいいことに切り売りしているような気もする。

目先の利益だけを考えていれば国民なんかはお構いなしだって。国民に選ばれた政府なのだから大丈夫などとたかをくっているのは今のうちだ。後で泣きづらかくなよ。

詰将棋の解答

▲2二銀△同金▲同飛成△同玉▲2一角成△同玉▲3一馬△同玉▲3二金まで9手詰